

2023 年度 名古屋芸術大学 入学試験問題
総合型選抜 D 方式/E 方式 1 期

入試問題

試験科目：「事前課題型 小論文」

日 程：【1 期】2022 年 10 月 17 日（月）～21 日（金）

試験時間：出願時に事前提出 ／ 解答字数：800 字程度

教育学部 子ども学科

対象コース：_____

※学生募集要項に事前課題として、各学科・領域別に掲載。

[課題]

子ども達は家庭や保育所、幼稚園、小学校など、さまざまな環境に身を置きながらそれぞれの成長・発達をしていきます。家庭や保育所、幼稚園、小学校などのいずれも、子どもの育ちを支え、成長や発達を促していくという点は変わりありません。子ども達の育ちを支え、成長や発達を促していくためには、家庭や保育所、幼稚園、小学校などの連携が重要になります。

そこで、特に家庭との連携について、教師や保育者はどのような姿勢で家庭とのかかわりを図っていくことが大切となるでしょうか。A、B のいずれかを選択し、あなたの考えを述べなさい。

A：教師（小学校教諭）として B：保育者（保育士・幼稚園教諭）として

[出題の意図等] ※問題用紙には記載されません。

課題文に記載のとおり、教師や保育者にとって、家庭との連携は重要な職務である。特に子ども一人ひとりの発達や、発達の支援について、教師や保育者は養育者よりも深い見識や見通しを持っていることが一般的であり、また望まれることでもある。そのため、教師や保育者は学校や園での子ども一人ひとりの様子から家庭での子どもの様子を見取り、その子どもの発達を見通したうえでのアプローチを図っていく。その際には、家庭での子どもの様子を把握し、また、保護者の願いや思いを受け止めつつ、保護者と連携しながら教育・保育活動を行っていく必要がある。

家庭との連携において、どのような姿勢をもって保護者とのかかわっていくのかは、時にその子どもに対する教育・保育活動の方向性を左右しうる重要な要因である。この際の基本姿勢としてどうあるべきかを尋ねることが本課題の出題の意図である。解答には、教師・保育者と保護者との関係を良好に保つことや、保護者の願いを受け止めるあり方、教育・保育において必要な働きかけを保護者に対してどのように行っていくかの考えが含まれていることが望まれる。

2023 年度 名古屋芸術大学 入学試験問題
総合型選抜 D 方式/E 方式 2 期

入試問題

試験科目：「事前課題型 小論文」

日 程：【2 期】2022 年 12 月 12 日（月）～16 日（金）

試験時間：出願時に事前提出 / 解答字数：800 字程度

教育学部 子ども学科

対象コース：_____

※学生募集要項に事前課題として、各学科・領域別に掲載。

[課題]

子ども達は家庭や保育所、幼稚園、小学校など、さまざまな環境に身を置きながらそれぞれの成長・発達をしていきます。家庭や保育所、幼稚園、小学校などのいずれも、子どもの育ちを支え、成長や発達を促していくという点は変わりありません。子ども達の育ちを支え、成長や発達を促すためには、家庭や保育所、幼稚園、小学校などの連携が重要になります。

そこで、特に保育所・幼稚園・小学校の連携について、担当する教師や保育者はどのような姿勢で臨み、またどのような役割を果たすことが大切となるでしょうか。A、B のいずれかを選択し、あなたの考えを述べなさい。

A：教師（小学校教諭）として B：保育者（保育士・幼稚園教諭）として

[出題の意図等] ※問題用紙には記載されません。

課題文に記載のとおり、教師や保育者にとって、保育所・幼稚園・小学校の連携（保幼小連携）は重要な職務である。保幼小連携においては、子ども一人ひとりの発達や課題を見通したうえでの情報共有や、保育所・幼稚園・認定こども園から小学校への接続（保幼小接続）をスムーズに行うための取り組みを効果的に行うことが大切となる。

保幼小連携や保幼小接続において、担当する教師や保育者の基本姿勢や役割をどのように考えているかを尋ねることが本出題の意図である。小学校や保育所、幼稚園、認定こども園の立場は対等であり、どちらかが強い立場を持つというわけではない。保幼小連携の際、特に担当する教師や保育者は、お互いの職域や専門性を尊重する姿勢を持つことが重要である。また、子ども一人ひとりの発達や課題を見通したうえでの情報共有が必要であり、それを踏まえたうえでの保幼小接続のあり方を考えることが重要である。教師や保育者が果たすべき役割として、保幼小連携において重要となる情報を的確に共有し、それを学校内や園内に周知することがある。解答には、これらの点についての考えが含まれていることが望まれる。